



[Number of appeal against examiner's decision  
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-328216

(43) 公開日 平成11年(1999)11月30日

(51) Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	F I	
G 0 6 F 17/30		G 0 6 F 15/403	3 1 0 B
13/00	3 5 5	13/00	3 5 5
17/60		H 0 4 N 7/173	
H 0 4 N 7/173		G 0 6 F 15/21	3 3 0
		15/40	3 1 0 F
審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 8 頁)			

(21) 出願番号 特願平10-138857

(22) 出願日 平成10年(1998)5月20日

(71) 出願人 000004226

日本電信電話株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番1号

(72) 発明者 竹内 商陸

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本

電信電話株式会社内

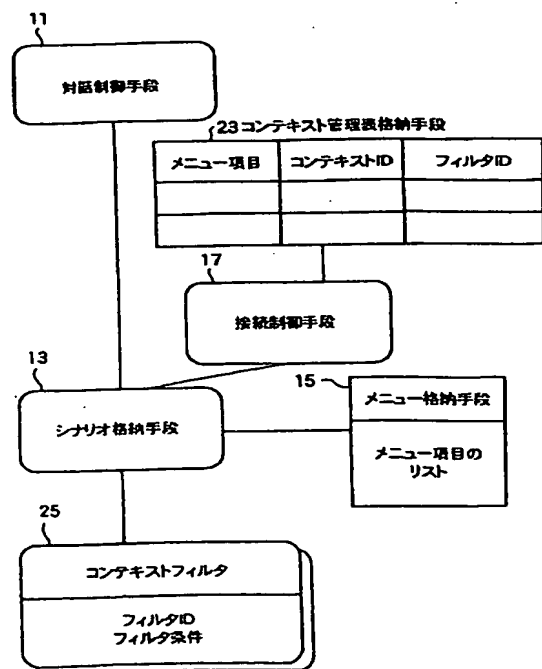
(74) 代理人 弁理士 三好 秀和 (外1名)

(54) 【発明の名称】 カタログ連結装置および方法とカタログ連結プログラムを記録した記録媒体

## (57) 【要約】

【課題】 重複カテゴリや質問に利用者が答える必要がないように重複するメニュー項目を省略してカタログ装置を結合し、手続きの効率化および円滑化を図ったカタログ連結装置および方法とカタログ連結プログラムを記録した記録媒体を提供する。

【解決手段】 前段のカタログ装置に対して後段のカタログ装置の重複するメニュー項目を省略して両カタログ装置を結合し、後段のカタログ装置を前段のカタログ装置に引き継ぐためのコンテキストフィルタ手段を設け、コンテキストフィルタ手段を機能させるためのコンテキストを初期化し、後段のカタログ装置に対してコンテキストIDを指定しながら検索要求を行い、起動すべきフィルタIDを検出し、該フィルタIDで指定されるコンテキストフィルタ手段を起動し、適合するメニュー項目を前段のカタログ装置に返送し、前段のカタログ装置はメニュー項目のレイアウトを合わせて利用者に提示する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 サービス項目を提示し利用者に選択させるためのカタログ装置を備えたサービス案内装置が複数カスケードに接続され、該サービス案内装置のカタログ装置にアクセスした利用者に対してサービス案内（ナビゲーション）を行うカタログ連結装置であって、利用者によって先にアクセスされる前段のカタログ装置のメニュー項目に対してメニュー項目を公開した後段のカタログ装置の重複するメニュー項目を省略して両カタログ装置のメニュー項目を結合し、1つのカタログ装置の1つのメニュー項目のように提示すべく後段のカタログ装置のメニュー項目を前段のカタログ装置に引き継ぐように後段のカタログ装置にフィルタIDを付与して設けるとともに、前段のカタログ装置にフィルタIDを返却するコンテキストフィルタ手段と、前記公開されたメニュー項目、コンテキストID、フィルタID、フィルタ条件をパラメータとして前記コンテキストフィルタ手段を機能させるためのコンテキストを初期化するコンテキスト初期化手段と、前段のカタログ装置におけるメニュー項目の選択において特定のメニュー項目が選択された場合、後段のカタログ装置に対してコンテキストIDおよびメニュー項目を含むパラメータを指定しながら検索要求を行う検索要求手段と、後段のカタログ装置は前記検索要求を受けると、前記パラメータをキーにコンテキスト管理表を検索して、起動すべきコンテキストフィルタ手段のフィルタIDを検出するフィルタID検出手段と、後段のカタログ装置においては前記検出したフィルタIDで指定されるコンテキストフィルタ手段を起動する起動手段と、この起動されたコンテキストフィルタ手段は予め登録されている検索条件を用いてメニュー項目で指定されるメニュー項目の範囲を検索し、適合するメニュー項目を前段のカタログ装置に返送する返送手段と、前段のカタログ装置は前記返送されたメニュー項目を自己のレイアウトに合わせて整形して利用者に提示する提示手段とを有することを特徴とするカタログ連結装置。

【請求項2】 サービス項目を提示し利用者に選択させるためのカタログ装置を備えたサービス案内装置が複数カスケードに接続され、該サービス案内装置のカタログ装置にアクセスした利用者に対してサービス案内を行うカタログ連結方法であって、利用者によって先にアクセスされる前段のカタログ装置のメニュー項目に対してメニュー項目を公開した後段のカタログ装置の重複するメニュー項目を省略して両カタログ装置のメニュー項目を結合し、1つのカタログ装置の1つのメニュー項目のように提示すべく後段のカタログ装置のメニュー項目を前段のカタログ装置に引き継ぐためのコンテキストフィルタ手段を後段のカタログ装置

にフィルタIDを付与して設けるとともに、前段のカタログ装置にフィルタIDを返却し、

前記公開されたメニュー項目、コンテキストID、フィルタID、フィルタ条件をパラメータとして前記コンテキストフィルタ手段を機能させるためのコンテキストを初期化し、

前段のカタログ装置におけるメニュー項目の選択において特定のメニュー項目が選択された場合、後段のカタログ装置に対してコンテキストIDおよびメニュー項目を含むパラメータを指定しながら検索要求を行い、

10 後段のカタログ装置は前記検索要求を受けると、前記パラメータをキーにコンテキスト管理表を検索して、起動すべきコンテキストフィルタ手段のフィルタIDを検出し、

後段のカタログ装置においては前記検出したフィルタIDで指定されるコンテキストフィルタ手段を起動し、この起動されたコンテキストフィルタ手段は予め登録されている検索条件を用いてメニュー項目で指定されるメニュー項目の範囲を検索し、適合するメニュー項目を前段のカタログ装置に返送し、

20 前段のカタログ装置は前記返送されたメニュー項目を自己のレイアウトに合わせて整形して利用者に提示することを特徴とするカタログ連結方法。

【請求項3】 サービス項目を提示し利用者に選択させるためのカタログ装置を備えたサービス案内装置が複数カスケードに接続され、該サービス案内装置のカタログ装置にアクセスした利用者に対してサービス案内を行うカタログ連結プログラムを記録した記録媒体であって、利用者によって先にアクセスされる前段のカタログ装置のメニュー項目に対してメニュー項目を公開した後段のカタログ装置の重複するメニュー項目を省略して両カタログ装置のメニュー項目を結合し、1つのカタログ装置の1つのメニュー項目のように提示すべく後段のカタログ装置のメニュー項目を前段のカタログ装置に引き継ぐためのコンテキストフィルタ手段を後段のカタログ装置にフィルタIDを付与して設けるとともに、前段のカタログ装置にフィルタIDを返却し、

前記公開されたメニュー項目、コンテキストID、フィルタID、フィルタ条件をパラメータとして前記コンテキストフィルタ手段を機能させるためのコンテキストを初期化し、

前段のカタログ装置におけるメニュー項目の選択において特定のメニュー項目が選択された場合、後段のカタログ装置に対してコンテキストIDおよびメニュー項目を含むパラメータを指定しながら検索要求を行い、

後段のカタログ装置は前記検索要求を受けると、前記パラメータをキーにコンテキスト管理表を検索して、起動すべきコンテキストフィルタ手段のフィルタIDを検出し、

50 後段のカタログ装置においては前記検出したフィルタID

Dで指定されるコンテキストフィルタ手段を起動し、この起動されたコンテキストフィルタ手段は予め登録されている検索条件を用いてメニュー項目で指定されるメニュー項目の範囲を検索し、適合するメニュー項目を前段のカタログ装置に返送し、前段のカタログ装置は前記返送されたメニュー項目を自己のレイアウトに合わせて整形して利用者に提示することを特徴とするカタログ連結プログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、例えばビデオオンデマンド（VOD）、オンラインショッピング等におけるサービス選択処理（ナビゲーション）を行うカタログ連結装置および方法に関し、更に詳しくは、サービス項目を提示し利用者に選択させるためのカタログ装置を備えたサービス案内装置が複数カスケードに接続され、利用者によって先にアクセスされる前段のカタログ装置のメニュー項目に対して後段のカタログ装置の重複するメニュー項目を省略して両カタログ装置のメニュー項目を結合し、1つのカタログ装置の1つのメニュー項目のように提示して、利用者に所望のサービス項目を選択させ、サービス案内（ナビゲーション）を行うカタログ連結装置および方法とカタログ連結プログラムを記録した記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】この種のカタログ連結装置のシステム構成は、図1に示すように、カスケードに接続された複数のサービス案内装置1、3を有し、これらのサービス案内装置1、3には通信回線を介して利用者端末5が接続されている。また、サービス案内装置1はサービス案内業者システム7に設けられ、サービス案内装置3はサービス提供装置9に設けられている。

【0003】サービス案内装置1、3は、それぞれサービス項目を利用者端末5に提示し、利用者の選択により選択された項目を起動する機能を有する複数のカタログ装置を有している。なお、サービス案内装置1が備えているカタログ装置をNカタログ装置と称し、サービス案内装置3が備えているカタログ装置をSカタログ装置と称することにする。Nカタログ装置はサービス提供者およびそのサービス項目を利用者に選択させるためのカタログ装置であり、Sカタログ装置はサービス提供者が提供するサービス項目の詳細を選択させるためのカタログ装置である。

【0004】次に、このようにシステム構成されるカタログ連結装置の作用について図2に示すNカタログ装置およびSカタログ装置の木構造の階層型メニュー項目の例を参照して説明する。なお、図2はショッピングカタログ装置の例を示している。

【0005】利用者は利用者端末5からサービス案内装

置1にアクセスし、該サービス案内装置1に設けられているNカタログ装置を選択し、図2の前半に示すような木構造の階層型メニューを有するNカタログ装置から「パソコン」→「デスクトップ」→「タワー」→「A社」というような選択系列によりサービス提供者であるA社とサービス項目を選択する（ステップS1）。

【0006】サービス案内装置1のNカタログ装置は、利用者によるサービス提供者およびサービス項目の選択が終了すると、サービス提供者であるA社のSカタログ装置を備えているサービス案内装置3を介してSカタログ装置を起動する（ステップS2）。

【0007】サービス案内装置3のSカタログ装置は、図2の後半に示すような木構造の階層型メニューを持っており、利用者は利用者端末5を介してこのSカタログ装置から所望のサービスとサービス提供条件の選択を行うべく図2の後半に示すように「機種別」→「デスクトップ」→「タワー」→「製品1」というようにメニュー選択を行い、所望のサービス項目である「製品1」を選択する（ステップS3）。利用者によるサービス項目の選択が終了すると、サービス案内装置3のSカタログ装置はサービス提供装置9を起動し、利用者にサービスを提供する（ステップS4）。

【0008】なお、上述した従来の処理において、Nカタログ装置からSカタログ装置を起動した時点で利用者との対話制御がサービス案内装置1からサービス案内装置3に移動するが、この際にNカタログ装置上でのシナリオとSカタログ装置上でのそれとの違いを利用者が認識し、新しいシナリオのメニュー項目を選択し直している。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来技術においては、Nカタログ装置とSカタログ装置におけるサービス項目の選択のシナリオの違いから利用者がNカタログ装置上で行った選択のうち、Sカタログ装置のサービス項目と直接関係のない選択項目はSカタログ装置に引き継がれないため、利用者から見ると、両カタログ装置で同種のカテゴリや質問に重複して答えなければならず、煩わしく、非効率的であるという問題がある。

【0010】具体的には、上述したように、利用者はNカタログ装置上で所望のパソコンのカテゴリとしての「デスクトップ」「タワー」等の属性を指定しているが、この情報がサービス案内装置3およびSカタログ装置に引き継がれないため、再度選択しなければならないという問題がある。

【0011】本発明は、上記に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、重複したカテゴリや質問に利用者が答える必要がないように重複するメニュー項目を省略してカタログ装置を結合し、1つのカタログ装置の1つのメニュー項目のように提示し、手続きの効率化および円滑化を図ったカタログ連結装置および方法とカタ

10

20

30

40

50

ログ連結プログラムを記録した記録媒体を提供することにある。

【0012】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、請求項1記載の本発明は、サービス項目を提示し利用者に選択させるためのカタログ装置を備えたサービス案内装置が複数カスケードに接続され、該サービス案内装置のカタログ装置にアクセスした利用者に対してサービス案内（ナビゲーション）を行うカタログ連結装置であって、利用者によって先にアクセスされる前段のカタログ装置のメニュー項目に対してメニュー項目を公開した後段のカタログ装置の重複するメニュー項目を省略して両カタログ装置のメニュー項目を結合し、1つのカタログ装置の1つのメニュー項目のように提示すべく後段のカタログ装置のメニュー項目を前段のカタログ装置に引き継ぐように後段のカタログ装置にフィルタIDを付与して設けるとともに、前段のカタログ装置にフィルタIDを返却するコンテキストフィルタ手段と、前記公開されたメニュー項目、コンテキストID、フィルタID、フィルタ条件をパラメータとして前記コンテキストフィルタ手段を機能させるためのコンテキストを初期化するコンテキスト初期化手段と、前段のカタログ装置におけるメニュー項目の選択において特定のメニュー項目が選択された場合、後段のカタログ装置に対してコンテキストIDおよびメニュー項目を含むパラメータを指定しながら検索要求を行う検索要求手段と、後段のカタログ装置は前記検索要求を受けると、前記パラメータをキーにコンテキスト管理表を検索して、起動すべきコンテキストフィルタ手段のフィルタIDを検出するフィルタID検出手段と、後段のカタログ装置においては前記検出したフィルタIDで指定されるコンテキストフィルタ手段を起動する起動手段と、この起動されたコンテキストフィルタ手段は予め登録されている検索条件を用いてメニュー項目で指定されるメニュー項目の範囲を検索し、適合するメニュー項目を前段のカタログ装置に返送する返送手段と、前段のカタログ装置は前記返送されたメニュー項目を自己のレイアウトに合わせて整形して利用者に提示する提示手段とを有することを要旨とする。

【0013】請求項1記載の本発明にあっては、前段のカタログ装置のメニュー項目に対して後段のカタログ装置の重複するメニュー項目を省略して両カタログ装置のメニュー項目を結合し、後段のカタログ装置のメニュー項目を前段のカタログ装置に引き継ぐためのコンテキストフィルタ手段を後段のカタログ装置に設け、メニュー項目、コンテキストID、フィルタID、フィルタ条件をパラメータとしてコンテキストフィルタ手段を機能させるためのコンテキストを初期化し、後段のカタログ装置に対してコンテキストIDおよびメニュー項目を含むパラメータを指定しながら検索要求を行い、後段のカタログ装置はコンテキスト管理表を検索して、起動すべき

コンテキストフィルタ手段のフィルタIDを検出し、該フィルタIDで指定されるコンテキストフィルタ手段を起動し、コンテキストフィルタ手段はメニュー項目の範囲を検索し、適合するメニュー項目を前段のカタログ装置に返送し、前段のカタログ装置は返送されたメニュー項目のレイアウトを合わせて利用者に提示するため、利用者はあたかも1つのカタログ装置でサービス項目を選択したように見え、重複選択や質問に答える必要がなく、スムーズなナビゲーションを行うことができる。

10 【0014】また、請求項2記載の本発明は、サービス項目を提示し利用者に選択させるためのカタログ装置を備えたサービス案内装置が複数カスケードに接続され、該サービス案内装置のカタログ装置にアクセスした利用者に対してサービス案内を行うカタログ連結方法であって、利用者によって先にアクセスされる前段のカタログ装置のメニュー項目に対してメニュー項目を公開した後段のカタログ装置の重複するメニュー項目を省略して両カタログ装置のメニュー項目を結合し、1つのカタログ装置の1つのメニュー項目のように提示すべく後段のカタログ装置のメニュー項目を前段のカタログ装置に引き継ぐためのコンテキストフィルタ手段を後段のカタログ装置にフィルタIDを付与して設けるとともに、前段のカタログ装置にフィルタIDを返却し、前記公開されたメニュー項目、コンテキストID、フィルタID、フィルタ条件をパラメータとして前記コンテキストフィルタ手段を機能させるためのコンテキストを初期化し、前段のカタログ装置におけるメニュー項目の選択において特定のメニュー項目が選択された場合、後段のカタログ装置に対してコンテキストIDおよびメニュー項目を含む

20

30

40

50

パラメータを指定しながら検索要求を行い、後段のカタログ装置は前記検索要求を受けると、前記パラメータをキーにコンテキスト管理表を検索して、起動すべきコンテキストフィルタ手段のフィルタIDを検出し、後段のカタログ装置においては前記検出したフィルタIDで指定されるコンテキストフィルタ手段を起動し、この起動されたコンテキストフィルタ手段は予め登録されている検索条件を用いてメニュー項目で指定されるメニュー項目の範囲を検索し、適合するメニュー項目を前段のカタログ装置に返送し、前段のカタログ装置は前記返送されたメニュー項目を自己のレイアウトに合わせて整形して利用者に提示することを要旨とする。

【0015】請求項2記載の本発明にあっては、前段のカタログ装置のメニュー項目に対して後段のカタログ装置の重複するメニュー項目を省略して両カタログ装置のメニュー項目を結合し、後段のカタログ装置のメニュー項目を前段のカタログ装置に引き継ぐためのコンテキストフィルタ手段を後段のカタログ装置に設け、メニュー項目、コンテキストID、フィルタID、フィルタ条件をパラメータとしてコンテキストフィルタ手段を機能させるためのコンテキストを初期化し、後段のカタログ装

置に対してコンテキストIDおよびメニュー項目を含むパラメータを指定しながら検索要求を行い、後段のカタログ装置はコンテキスト管理表を検索して、起動すべきコンテキストフィルタ手段のフィルタIDを検出し、該フィルタIDで指定されるコンテキストフィルタ手段を起動し、コンテキストフィルタ手段はメニュー項目の範囲を検索し、適合するメニュー項目を前段のカタログ装置に返送し、前段のカタログ装置は返送されたメニュー項目のレイアウトを合わせて利用者に提示するため、利用者はあたかも1つのカタログ装置でサービス項目を選択したように見え、重複選択や質問に答える必要がなく、スムーズなナビゲーションを行うことができる。

【0016】更に、請求項3記載の本発明は、サービス項目を提示し利用者に選択させるためのカタログ装置を備えたサービス案内装置が複数カスケードに接続され、該サービス案内装置のカタログ装置にアクセスした利用者に対してサービス案内を行うカタログ連結プログラムを記録した記録媒体であって、利用者によって先にアクセスされる前段のカタログ装置のメニュー項目に対してメニュー項目を公開した後段のカタログ装置の重複するメニュー項目を省略して両カタログ装置のメニュー項目を結合し、1つのカタログ装置の1つのメニュー項目のように提示すべく後段のカタログ装置のメニュー項目を前段のカタログ装置に引き継ぐためのコンテキストフィルタ手段を後段のカタログ装置にフィルタIDを付与して設けるとともに、前段のカタログ装置にフィルタIDを返却し、前記公開されたメニュー項目、コンテキストID、フィルタID、フィルタ条件をパラメータとして前記コンテキストフィルタ手段を機能させるためのコンテキストを初期化し、前段のカタログ装置におけるメニュー項目の選択において特定のメニュー項目が選択された場合、後段のカタログ装置に対してコンテキストIDおよびメニュー項目を含むパラメータを指定しながら検索要求を行い、後段のカタログ装置は前記検索要求を受けると、前記パラメータをキーにコンテキスト管理表を検索して、起動すべきコンテキストフィルタ手段のフィルタIDを検出し、後段のカタログ装置においては前記検出したフィルタIDで指定されるコンテキストフィルタ手段を起動し、この起動されたコンテキストフィルタ手段は予め登録されている検索条件を用いてメニュー項目で指定されるメニュー項目の範囲を検索し、適合するメニュー項目を前段のカタログ装置に返送し、前段のカタログ装置は前記返送されたメニュー項目を自己のレイアウトに合わせて整形して利用者に提示するカタログ連結プログラムを記録媒体に記録することを要旨とする。

【0017】請求項3記載の本発明にあっては、前段のカタログ装置のメニュー項目に対して後段のカタログ装置の重複するメニュー項目を省略して両カタログ装置のメニュー項目を結合し、後段のカタログ装置のメニュー項目を前段のカタログ装置に引き継ぐためのコンテキ

トフィルタ手段を後段のカタログ装置に設け、メニュー項目、コンテキストID、フィルタID、フィルタ条件をパラメータとしてコンテキストフィルタ手段を機能させるためのコンテキストを初期化し、後段のカタログ装置に対してコンテキストIDおよびメニュー項目を含むパラメータを指定しながら検索要求を行い、後段のカタログ装置はコンテキスト管理表を検索して、起動すべきコンテキストフィルタ手段のフィルタIDを検出し、該フィルタIDで指定されるコンテキストフィルタ手段を起動し、コンテキストフィルタ手段はメニュー項目の範囲を検索し、適合するメニュー項目を前段のカタログ装置に返送し、前段のカタログ装置は返送されたメニュー項目のレイアウトを合わせて利用者に提示するカタログ連結プログラムを記録媒体に記録しているため、該記録媒体を用いて、その流通性を高めることができる。

【0018】

【発明の実施の形態】以下、図面を用いて本発明の実施の形態について説明する。図3は、本発明の一実施形態に係るカタログ連結装置に使用されるサービス案内装置に設けられているカタログ装置の構成を示す図である。同図に示すカタログ装置は、図1に示すカタログ連結装置のシステム構成においてサービス案内装置1および3に設けられるものであり、図1に示すカタログ連結装置のシステム構成は、サービス案内装置1、3に図3に示すカタログ装置が使用されることを除いて、本実施形態のカタログ連結装置に適用し得るものである。また、サービス案内装置1に設けられるカタログ装置をNカタログ装置と称し、サービス案内装置3に設けられるカタログ装置をSカタログ装置と称し、Nカタログ装置はサービス提供者およびそのサービス項目を利用者に選択させるためのカタログ装置であり、Sカタログ装置はサービス提供者が提供するサービス項目の詳細を選択させるためのカタログ装置である。

【0019】図3に示すカタログ装置は、対話制御手段11、シナリオ格納手段13、メニュー項目のリスト等を格納したメニュー格納手段15、接続制御手段17、メニュー項目、コンテキストID、フィルタID等からなるコンテキスト管理表を格納しているコンテキスト管理表格納手段23、およびコンテキストフィルタ25を有する。

【0020】また、図3に示すカタログ装置においては、前段のカタログ装置であるNカタログ装置のシナリオに沿ったメニュー項目検索処理を司るコンテキストフィルタ25を組み込む機能を後段のカタログ装置であるSカタログ装置上のシナリオに持たせ、そのコンテキストフィルタ25を作動させる位置を管理するコンテキスト管理表をSカタログ装置上の接続制御手段17に設けることによりSカタログ装置をNカタログ装置の一部に組み込んでいる。

【0021】次に、図4に示す流れ図を参照して作用を

説明する。図4において、まずSカタログ装置はコンテキストフィルタ25を登録できるメニュー項目名のリストをNカタログ装置に公開する〔処理①〕。Nカタログ装置はSカタログ装置の接続制御手段17に対してコンテキストフィルタ25の組み込み要求を発行する〔処理②〕。この要求のパラメータとしてコンテキストフィルタ実体またはコンテキストフィルタ実体の位置情報を引き継ぎ、パラメータまたはパラメータで指定された位置からコンテキストフィルタ25を取得し、フィルタIDを付与して記憶する。なお、正しく記憶されたことを示すためにNカタログ装置にフィルタIDを返送する。

〔0022〕Nカタログ装置はSカタログ装置の接続制御手段17に対してコンテキスト初期化要求を発行する〔処理③〕。この要求には4つのパラメータが指定される。第1のパラメータは処理①で公開されたメニュー項目名であり、第2のパラメータはNカタログ装置がコンテキストフィルタ25を起動する際のキー情報として使用するコンテキストIDであり、第3のパラメータは処理②で登録されているフィルタIDであり、第4のパラメータはコンテキストフィルタ25の動作を制御するためのフィルタ条件である。なお、フィルタ条件は省略可能であり、指定されない場合には、コンテキストフィルタ25自身のデフォルトが使用される。

〔0023〕また、Sカタログ装置の接続制御手段17は引き継がれたパラメータのうちメニュー項目名、コンテキストIDおよびフィルタIDの3つのパラメータをコンテキスト管理表格納手段23のコンテキスト管理表に追加し、検索条件をコンテキストフィルタ25に設定する。Nカタログ装置は自分のシナリオのメニュー項目とコンテキストIDを対応付けて記憶しておく。

〔0024〕次に、利用者はNカタログ装置を起動し〔処理④〕、提示されたシナリオに沿ってメニュー項目を選択していく〔処理⑤、⑥〕。そして、Nカタログ装置上の特定のメニュー項目が選択されたことを契機にNカタログ装置のシナリオはSカタログ装置に対して検索要求を出す〔処理⑦〕。この要求には2つのパラメータを指定する。第1のパラメータはコンテキストIDであり、第2のパラメータはメニュー項目名である。ここにおいて、メニュー項目名は省略可能である。

〔0025〕Sカタログ装置は、前記検索要求を受ける\*40

メニュー項目	コンテキストID	フィルタID
「機種別」	C1	F1

次に、処理④～⑥では、利用者はNカタログ装置を起動して、Nカタログ装置からシナリオの提供を受け、Nカタログ装置上のメニュー項目で「パソコン」→「デスクトップ」→「タワー」→「A社」というようにメニューを選択する。メニュー項目「A社」は前提1からA社のSカタログ装置に関連付けられているので、検索要求を

\*と、指定されたパラメータをキーにコンテキスト管理表格納手段23のコンテキスト管理表を検索し、起動すべきコンテキストフィルタ25のフィルタIDを検出する。ここで、メニュー項目名が省略されている場合には、コンテキストIDと対応するすべてのメニュー項目とコンテキストフィルタの組を見つける。Sカタログ装置のシナリオは指定されたメニュー項目名に対してフィルタIDで指定されるコンテキストフィルタ25を起動する。コンテキストフィルタ25は予め登録されている検索条件を用いてメニュー項目で指定されるメニューの範囲を検索し、適合するメニュー項目をNカタログ装置に送る〔処理⑧〕。

〔0026〕それから、Nカタログ装置ではコンテキストフィルタ25から返送されたメニュー項目名を自身のレイアウトに合わせて整形し、利用者に提示する〔処理⑨〕。

〔0027〕次に、図5および図2を参照して更に具体的に作用を説明する。なお、この説明では、次に示す前提1～4を設けている。前提1は、図2においてNカタログ装置上のメニュー項目「A社」をA社の「機種別」と関連付けるものとする。前提2は、A社のSカタログ装置がフィルタ登録可能なメニュー項目名として「機種別」を公開しているものとする（図4の処理①は省略する）。前提3は、Nカタログ装置には検索条件Q1：「製品タイプが”デスクトップ”であり、かつ形状が”タワー”である製品に対するメニュー項目」に対するコンテキストフィルタ25が用意されている。このコンテキストフィルタ25はサービス案内装置3上で動作可能なソフトウェアとして実装されている。前提4は、図4の処理①、②の手順は実行済みである。前提3のコンテキストフィルタ25を登録した結果としてフィルタID=F1がSカタログ装置から返却されたものとする。

〔0028〕以上の前提条件の下で作用を説明する。まず、図5の処理⑤では、指定パラメータ値によりコンテキストが初期化され、コンテキスト管理表格納手段23のコンテキスト管理表は次に示す表1の状態になる。既に登録されているF1に検索条件Q1が渡される。

〔0029〕

〔表1〕

実行する〔処理⑦〕。検索要求を受けたSカタログ装置は、上述した表1の状態にあるコンテキスト管理表から起動すべきコンテキストフィルタ25がF1であることを理解し、F1を起動する。

〔0030〕F1はSカタログ装置の「機種別」メニュー項目以下の部分木を検索範囲として検索条件Q1に適



合するメニュー項目を探し、「製品1」および「製品2」が該当することをシナリオに通知する。Nカタログ装置のシナリオはこの結果をNカタログ装置に返送する【処理⑤】。

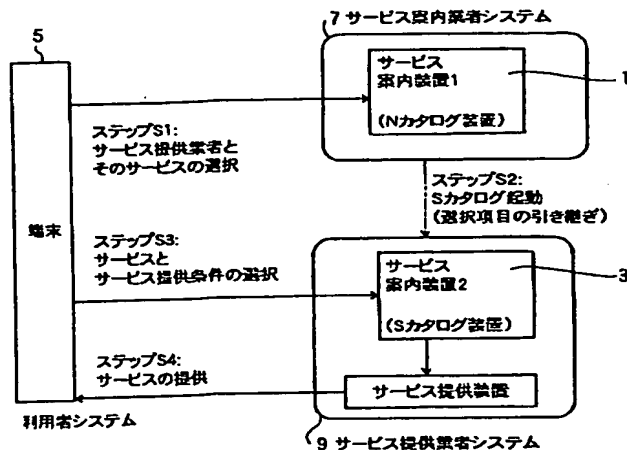
【0031】Nカタログ装置では、検索結果を独自のレイアウトで表示できるように編集して利用者に提示する【処理⑥】。利用者はこの情報をもとに選択を継続する。

【0032】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、前段のカタログ装置のメニュー項目に対して後段のカタログ装置の重複するメニュー項目を省略して両カタログ装置のメニュー項目を結合し、後段のカタログ装置のメニュー項目を前段のカタログ装置に引き継いで、1つのカタログ装置の1つのメニュー項目のように提示するので、利用者はあたかも1つのカタログ装置でサービス項目を選択したように見え、重複したカテゴリ選択や質問に答える必要がなく、スムーズなナビゲーションを行うことができ、手続きの効率化および円滑化を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】カタログ連結装置のシステム構成を示す図である。



る。

【図2】カタログ装置における木構造の階層型メニュー項目の例を示す図である。

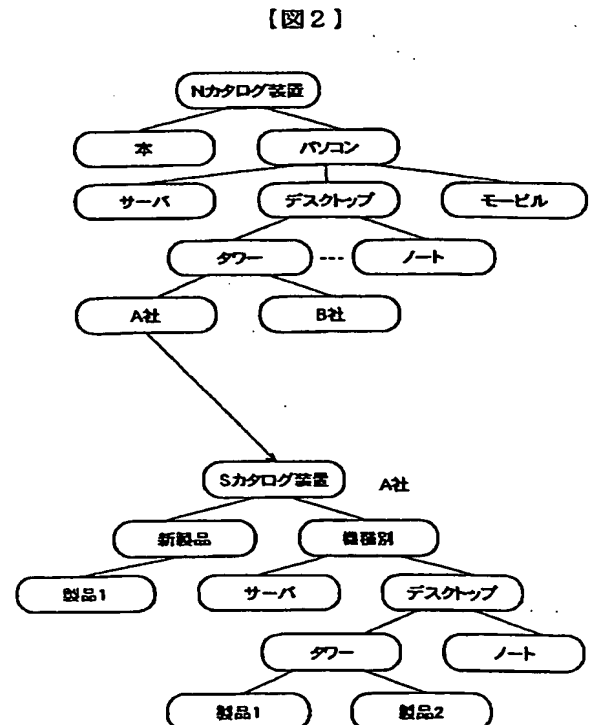
【図3】本発明の一実施形態に係るカタログ連結装置に使用されるサービス案内装置に設けられているカタログ装置の構成を示す図である。

【図4】図3に示すカタログ連結装置の作用を示す流れ図である。

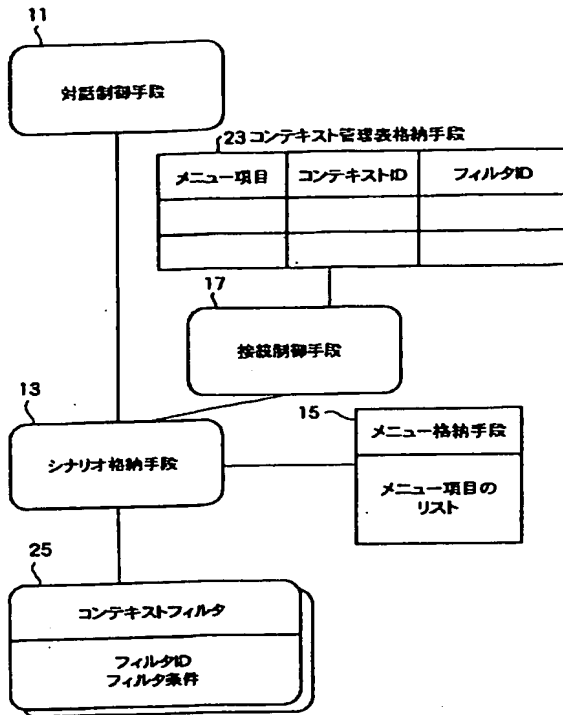
【図5】図3に示すカタログ連結装置の更に具体的な作用を示す流れ図である。

【符号の説明】

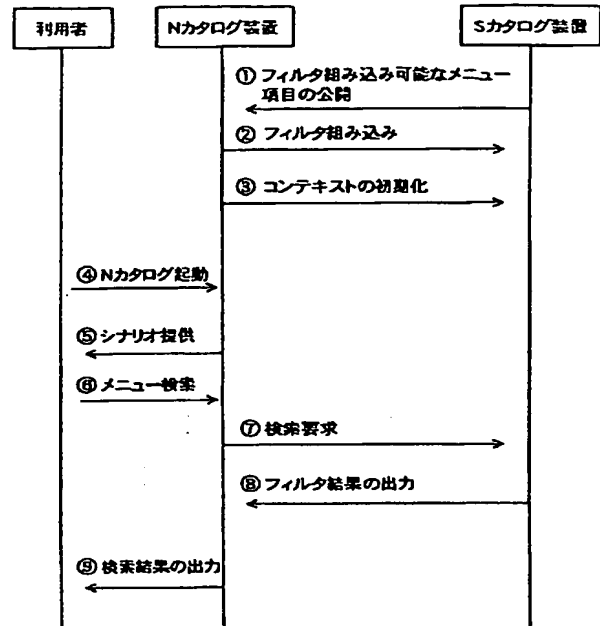
- 1, 3 サービス案内装置
- 5 利用者端末
- 7 サービス案内業者システム
- 9 サービス提供装置
- 11 対話制御手段
- 13 シナリオ格納手段
- 15 メニュー格納手段
- 17 接続制御手段
- 20 23 コンテキスト管理表格納手段
- 25 コンテキストフィルタ



【図3】



【図4】



【図5】

